

事務事業計画シート

記載年月	平成25年3月
対象年度	平成25年度

1 事務事業の概要

事務事業名	生ごみ資源循環システム構築事業				事務事業コード	20380900	
概要	生ごみの堆肥化						
総合計画	基本目標	II	安全で快適に住めるまちづくり		予算科目	20	衛生費
	基本施策	4	循環型社会の形成			10	清掃費
	施策	38	ごみ減量化・資源化の推進			13	リサイクル推進費
主管部課名	生活環境部 ごみ減量推進課						
制度上の実施主体	市	会計区分	一般会計		事業類型	ソフト事業（任意）	
		事業実施計画	—		事業実施期間	平成20年度～	
根拠／関連法令	府中市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例				市関連計画名	一般廃棄物処理基本計画	

2 事務事業の目的

対象	学校給食や家庭から排出される生ごみ
手段・方法	①モデル小学校に生ごみ処理機を設置し、生ごみの堆肥化を行う。 ②調布市と共同で将来的な生ごみの資源化に向けて研究を行う。
意図	可燃ごみの50%を占める生ごみの資源化を推進するとともに、市内の農家の支援策として、化学肥料に変わって市内の農地で利用できる有機肥料の生産を目指す。

3 事業計画

H20年度	H21年度	H22年度
研究 モデル校の選定	設備及び堆肥化機器の設置 試験運用開始	農工大学、市内農家との連携
H23年度	H24年度	H25年度
▼給食残さの回収から生ごみ堆肥の生成。 ▼市内農家への供給、利用と堆肥を用いて生産された農作物の市民、児童への供給までの資源循環の確立。 ▼家庭から排出される生ごみの将来的な資源化へ向けて、調布市と共同で、委託調査や先進地視察等を通じて研究を行う。	▼給食残さの回収から生ごみ堆肥の生成。 ▼市内農家への供給、利用と堆肥を用いて生産された農作物の市民、児童への供給までの資源循環の確立。 ▼平成23年度の調布市との共同研究の成果に基づいて、生ごみ資源化の事業化の是非を総合的視点から判断する。	▼給食残さの回収から生ごみ堆肥の生成。 ▼市内農家への供給、利用と堆肥を用いて生産された農作物の市民、児童への供給までの資源循環の確立。 ▼生ごみ資源化の事業化について、これまでの研究内容や、他市の動向を見ながら検討していく。 ※これまでの実績値を基に、平成25年度計画値を見直した。

4 事業費

(単位：円)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
(事業費)						
当初予算額		5,740,000	3,104,000	3,133,000	3,129,000	3,041,000
国庫支出金		0	0	0	0	0
都支出金		0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0
その他		0	0	60,000	1,800,000	1,600,000
一般財源		5,740,000	3,104,000	3,073,000	1,329,000	1,441,000

5 指標

指標名	基準値 (単位)	計画値						目標値・ 目標年度
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
① 生ごみ投入量	4,807	0	4,807	4,807	9,615	9,615	4,000	9,615
	kg							平成23年度
②	-	-	-	-	-	-	-	-
	-							-

6 構成事業一覧

(単位：円)

1	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	当初予算額	
							H24年度	H25年度
1	01	20	10	13	0888500	生ごみ資源循環システム構築事業費	3,129,000	3,041,000
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合 計							3,129,000	3,041,000